

《担当者名》森元 良太（リハ）

【概要】

現代の英米哲学の諸問題を正しく理解し、自然科学に関する哲学的問題へのさまざまなアプローチを学ぶ。まずは、哲学とはどのような学問であるかを理解し、哲学をするための論理的な思考法を習得する。次に、科学の諸特徴を学ぶことで、科学の本性を理解する。最後に、自然科学に関する哲学的問題を学ぶ。ニュートン力学と進化論を中心に、それらの理論が描く世界観を把握する。討論の形もとり、一方的に知を吸収するだけではなく、批判的思考法も習得する。

【学修目標】

現代に生きる私たちの思考の枠組みを理解するため、古代から現代までの哲学の流れを学ぶ。
現代哲学の諸問題とその解決策を検討することにより、哲学の論理的思考法を習得する。
いまの私たち常識の起源を探るために、アリストテレスの世界観を知る。
アリストテレスの世界観と近代以降の世界観を比較することで、現代の思考の枠組みを理解する。物質についてはニュートン力学の世界観、生命についてはダーウィン進化論の世界観を学ぶ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	哲学について	哲学の諸問題や特徴の理解を通じて、哲学という学問分野を概観する。	森元 良太
2	哲学について	哲学の道具としての推論を学ぶ。演繹論理、帰納論理、アブダクションの特徴を学習する。	森元 良太
3	哲学小史	哲学史を学ぶ。古代ギリシアから現代までの哲学の枠組み、およびその変化を理解し、現代に生きる私たちの思考の枠組みを知る。	森元 良太
4	哲学小史	近代から現代に至る言語論的転回について学び、現代哲学の基本事項を身につける。	森元 良太
5	論理的思考	アリストテレスの論理学を学ぶとともに、古典論理学の問題点を理解する。また、フレーゲ以降の現代論理学の基本事項を身につける。	森元 良太
6	論理的思考	科学的知識の本性を理解するため、知識の特徴づけを学ぶ。知識の哲学に関する基本的な議論に触れ、知識の正当化に経験が重要であることを理解する。	森元 良太
7	科学とは何か	科学の本性を理解するため、科学的説明の特徴について検討する。とくに、科学的思考における演繹論理と帰納論理の問題点を学ぶ。	森元 良太
8	科学とは何か	帰納論理の問題点を理解する。反証可能性という科学の基準について検討する。	森元 良太
9	科学とは何か	近年科学で注目を集めているベイズ主義の考えを学び、帰納論理の問題点の克服を理解する。	森元 良太
10	アリストテレスの世界観	アリストテレスの4原因説を学び、現代の枠組みとの違いを検討する。	森元 良太
11	アリストテレスの世界観	アリストテレスの世界観とその問題点を理解する。とくに、正常と異常の区別、およびその区別の変遷を学ぶ。	森元 良太
12	ニュートン力学の世界観	ニュートンによる物理学の内容と方法論の革新を学び、ニュートンが近代以降の科学に与えた影響を理解する。	森元 良太
13	ニュートン力学の世界観	ニュートン力学にもとづく決定論的世界観を確認し、その世界観と確率概念の関係を検討する。	森元 良太
14	ダーウィン進化論の世界観	ダーウィンによる生物学の内容と方法論の革新を学び、ダーウィンの独創性を理解する。	森元 良太

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
15	ダーウィン進化論の世界観	ダーウィンによる進化論的世界観を理解し、その世界観と確率概念との関係を検討する。	森元 良太

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

期末レポート100%

【教科書】

教科書は使用しない。講義資料はGoogle Classroomを利用して配布する。

【参考書】

アレックス・ローゼンバーグ 著 「科学哲学」 春秋社 2011年

【備考】

1. 講義資料の配信、学修課題の提示
 - ・講義資料はGoogle Classroomを利用して配布する。
 - ・学習課題はGoogle Classroomを利用して提示する。
2. 講義に関する学生間、および教員とのディスカッションの実践
 - ・Google Classroomを利用して、学生相互の意見交換、および学生と教員間のディスカッションをおこなう。
3. 授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術の活用
 - ・Google Formを利用し、毎回小テストを実施し、学生の理解度を把握する。

【学修の準備】

授業では知識を提供することが多くなるが、哲学は自分自身で考えることが重要な学問である。哲学者の議論を自分で再構成することは、論理的思考法を習得するにも効果的である。そのため、授業後にしっかり復習をすること（80分）。また、次回までに授業で紹介した議論に批判を加え、さらに自分で議論を用意してくること（80分）。授業中に小レポートなどで意見を求め、ディスカッションすることがある。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。
上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。